

令和8年2月13日(金) 10:00~

第4回学校運営協議会記録

出席者

- 会長 増渕 晴美 様
- 副会長 山家 幸勝 様
- 協議会委員 大垣 玉枝 様
- 下山 千恵子 様
- 諏訪 美津枝 様
- 蓬田 裕康 様
- 白石 孝子 様 (国分寺小 教頭)
- 稲葉 亜希恵 様 (国分寺中 教頭)
- 地域学校協働活動推進委員
- 海老原 忠 様
- 坪山 仁 様

1 開会

- (1) 学校運営協議会会長より
 - ・学校評価等を受けて
- (2) 学校長より
 - ・学校の現状(健康状況等の説明)
 - ・学校だよりについて
 - ・けがトラブルは少なくない
 - ・今後の良い学校につなげていきたい

2 学校評価結果報告(教頭)

- (1) 学校評価の見方、概要説明
- (2) R7学校評価考察について
 - 変化が見られた内容についての結果報告と改善策の説明、現状報告
- (3) 保護者、児童、教職員(校務分掌)の意見について
 - ・学校評価の保護者意見、対応策についての説明
 - ・児童・教職員意見についての説明
 - 様々な案件について組織として対応している。未然防止に努めていく。

3 協議

- (1) 学校評価結果について

○学校生活について

- ・先生方にはお世話になっている。学校に楽しく通っている児童がとても多い。授業が分からない、学校へ行くことが楽しくない児童が14%いる。そのような気持ちをもつ児童への対応を意識してほしい。
- ・先生に褒められることはうれしい。今後も信頼関係を密にしてほしい。子どもの悩みを受け止めて支援してほしい。学校最高という児童の感想に感動した。
- ・全体的な回答の状況を見ると、3.4以上(4点満点)の結果が多い。早寝、早起きができていない児童がいる。子どもも塾や習い事などで忙しい。早寝早起きができないことも不登校につながるの、早寝早起きの必要性を伝えていきたい。

○言葉遣い・あいさつについて

- ・子どもたちは現実とゲームの世界が混ざってしまっているのではないか。対戦型のゲームでは悪い言葉が多く出てくる。普段の生活でも出ていると思う。言葉の大切さを学校だけの指導は難しいが、今後お願いしたい。乱暴な言葉遣いについてはなかなか直らない。場面を捉えて細かく指導していく。
- ・中学校に入学すると1年生も敬語になっている。環境が人を変える。単語で話す生徒が少なくない。伝えたいことを文章にできない。語彙力の低下を感じている。

- ・登校時、安全指導をしていると、あいさつをよくしている児童が多い。

○PTA 組織について

- ・PTAの活動の内容について伝わっていない保護者が多いのではないかと。分かってもらえるような手立てはないか。PTAの活動をもっと発信してはどうか。
- ・PTA組織については、各地域の育成会も次第になくなってきている。危機感がある。保護者との新たな連携の形を模索していくべき。地域住民として見守っていききたい。

○いじめ防止について

- ・自分の昔の経験からいじめは難しい問題だと思っている。いじめる側だけの問題ではない。
- ・自分の子どもがいじめを受けたことがある。今でも影響はある。その時は先生方が真剣に対応してくれた。年月が経った今でも心の傷は治らない。いじめは心の奥に残る。

○地域ボランティア・地域連携について

- ・東小の中庭を有志（朝の会）で整備している。なんとか地域を活性化したいという気持ちをもっている。
- ・見守りボランティアを今後もやっていきたい。「みんなをみているよ」という感覚で。
- ・中学生との活動、地域の方との活動が楽しいかについては評価が高い。

(2) R8 学校運営協議会の重点について

- ・保護者のご心配は、けが、安全、安心、見守り体制。子どもが楽しくなるような取組。保護者からも手伝いたいという意見は心強くありがたい。いじめは他人事ではないと考えていく。
- ・地域学校協働本部については、方向性をまとめていくことが大切。学校への支援の在り方について、来年度は学校運営協議会で熟議を行い、支援、解決策が具体的に話合われる場としていきたい。

(3) R8 について

- ・クラス替えは、全学年、毎年行う。
- ・5年宿泊学習（臨海自然教室）は1泊2日で行う。
- ・給食の白衣、頭おおい各自のエプロン、バンダナなどに変更する。
- ・秋頃の授業参観の実施について（自由参観の形式で行う）
- ・9月から火曜日は全校5時間授業、一斉下校とする。

4 連絡

(1) 卒業式について

(2) 令和8年度 学校運営協議会の予定

(3) 学校運営協議会委員退任の方よりごあいさつ

5 閉会